

リニア中央新幹線 「奈良市附近駅」 早期確定への支援

要望内容

1. 「奈良市附近駅」の位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定
○名古屋・大阪間の環境影響評価法に基づく計画段階環境配慮書の1日も早い公表
2. 最速2037年の東京・大阪間全線開業に向け、本県区間を含む名古屋以西区間の早期着工
3. 車両基地の奈良県内設置

【財務省、国土交通省】

現状・課題

- ◇新幹線も空港もない本県にとって、**リニア中央新幹線は新たな発展の基軸であり、早期の全線開業及び「奈良市付近駅」の設置が重要な課題**
- ◇令和5年にJR東海が駅候補地周辺のボーリング調査をもって、**名古屋・大阪間の環境影響評価に着手**
- ◇「骨太の方針2025」に、**最速2037年全線開業という目標堅持**及び沿線自治体と連携し**全線開業に向けた環境整備を行う方針の記載**
- ◇東京・名古屋間の総工事費増加や静岡工区への着工の遅れ

取組

- 三重・奈良・大阪、国及びJR東海で構成する「**リニア中央新幹線3府県建設促進連携会議**」にて駅位置確定を含めた全線開業に向けた道筋等を**協議**する等、取組を推進。
- **リニア奈良県期成同盟会、リニア3府県建設促進大会、リニア全国期成同盟会**を開催し、駅位置・ルートの早期確定等に向けた取組を引き続き進めるよう、関係者の一致協力を推進。



リニア実験線試乗



令和7年度奈良県
期成同盟会総会



3府県建設促進連携会議

- JR東海が環境影響評価の一環として県内で実施しているボーリング調査について、公有地の幹旋及び提供を行うなど、密接に連携し、取組みを全力で推進。
- 沿線自治体として、JR東海が実施する**環境影響評価手続を円滑に進めるため想定される課題**に対し、**先行して検討**を実施。



ボーリング調査の様子
(奈良県内)

